

# 2020年度 入学試験 学特入試 I

## 国 語

※問題は[1]ページから[13]ページまであります。

※マークシートに、受験番号・氏名・性別・科目を正しく記入してください。

※解答は、すべてマークシートに記入してください。

※書き誤りをしたときは、きれいに消してから、新しい解答を書いてください。

学 特 入 試 I	受 験 番 号		氏  名	
-----------------------	------------------	--	------------	--

高崎健康福祉大学高崎高等学校



□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

明治時代の民権思想家・中江兆民<sup>なかえちやうみん</sup>は、大胆にも「わが日本に古より今に至るまで哲学なし」と断言した。もしアリストテレス以来の西洋論理学に基づいた哲学のみを哲学と呼ぶのなら、そうかもしれないが、どうも彼の発言には承服できない。たしかに日本人は、ロダンの彫刻「考える人」のように何もせず、坐りこんで形而上学的な思索に耽<sup>ひた</sup>ることは苦手である。だからといって日本人が哲学思想を生みださなかったと結論づけるのは、ソウ計<sup>ソウケイ</sup>である。

日本人は、神観念や倫理観についての抽象的議論は敬遠するかもしれないが、そのかわりに自分たちが手足を使って器用に作りだす一碗<sup>いちわん</sup>の茶碗、一振りの日本刀、一幅の水墨画の中に、全生命、全思想を表現するすべを身につけてきた。それが、日本人の〈野生の思考〉なのである。日本人は形而上的な観念をもてあそぶことはせず、形而下<sup>かたちげ</sup>のモノ作りに精魂を込めることによって、はじめて思惟<sup>しゆい</sup>を深めることのできる具象<sup>ぐしやう</sup>の民なのである。

そのようなモノ作りの系譜は、土偶や火焰土器<sup>かえん</sup>に代表される見事な造形力をもっていた縄文人の時代から、世界最高品質の半導体を生産する現代にいたるまで、日本列島に連綿<sup>れんめん</sup>としてケイ承<sup>ケイじやう</sup>されてきている。世々代々、芸術的なまでに美しい生活用品を数かぎりなく作り続けてきた国民が哲学を持たないということは、まずありえない。

ただモノ作りの哲学が徹底して述語的論理<sup>じゆごてきろんり</sup>であるため、主語的論理にそって展開する西洋哲学しか知らなかった近代のインテリが、それを正しく評価できなかったのである。主語的論理の哲学は、神や真理とい

ったロゴス中心に存在形式を定義づけようとするが、述語的論理の哲学は原理原則では捉えきれない個々の事象がもつ多様な存在形態をそのまま受け入れようとする。

主語的論理と述語的論理の違いを最も端的に示しているのが、交響楽と民族音楽である。西洋音楽を代表する交響楽は、指揮者という主語がオーケストラという述語を規定しないことには成立しない。それとは対照的に、民族音楽では個々の楽器奏者が思い思いに演奏するところに、不思議な調和が生みだされる。どこまでも述語となつて主語とならない民族音楽のリズムには、主語としての指揮者は不要というより、邪魔である。さしずめ西洋哲学が交響曲とすれば、日本の哲学は民族音楽である。両者の間に優劣はないが、その片方のみを評価して、もう一方を否定するのは、公平ではない。

いわゆる職人氣質に生きる無名の職人が、モノ作りの合間にボソッと口にしたりする片言隻句<sup>せつこ</sup>が、恐ろしいほどの真理を捉えていたりするのは、彼らが述語的論理の哲学者だからである。西洋でも、レンズ磨きの職人であつたスピノザのように、モノ作りと哲学的思惟<sup>しゆい</sup>を乖離<sup>かいり</sup>させなかつた哲学者がいるが、おかげで主語的論理からはみ出してしまつた彼の深遠な思想は、当時の学者たちからひどく軽蔑されることになつた。

さてモノを作りながら、物思いに耽<sup>ひた</sup>ることが得意な日本人の遺伝体質を考慮に入れるのなら、有能な日本の若者は、下手に学問の世界に首を突っ込まないほうがいい。それよりも、あらゆる分野の先端技術を駆使して、人類の幸福に少しでも貢献する具体的なモノ作りに励んだほうが、よっぽど有意義な人生を築くことができるだろう。

だいたい学問というのは、どちらかといえば気が小さくて、体を動か

すことに億劫なモノグサ人間が選択しがちな職業である。だから気宇壮大で、体力に自信のある人は、もっと創造的なことに貴重な人生の時間を使ったほうがいい。

特に私の専門は宗教学である。幸い、たいいていの若者は、宗教学など現実味のない学問に興味を持つことはないだろう。この情報化社会に、すっかりカビ臭くなってしまうた宗教の研究をして、いったい何の意味があるのか、どこが面白いのか、という反応があつて当然だと思う。

たしかにそれほど工夫がなければ、宗教学は退屈で詰まらない学問となってしまう可能性は高いし、実際に宗教学者にも偏屈でネクラの人が多  
I、今から宗教学者になろうなどと寝ぼけたことを考えている若者がいれば、禪僧ふうに「とりあえず頭から水でもかぶってこい」と一喝したい。

そこまで開き直った上で白<sup>C</sup>ジヨウするのだが、私自身は今も宗教学という学問に尽きせぬ興味を抱いている。なぜなら私にとって、それは〈生き方〉の問題だからである。特定の宗教を対象にして、その教義・歴史・儀礼などを詮索するだけなら、「X」の学者たちが計り知れないほどの業績を残していて、それをおさらいするだけで、学者人生を終えてしまうことになるだろう。

でも、私にとって「宗教とは何か」という問いかけをすることは、「生きるって何なのか」、あるいは「生命はどこからやって来て、どこに去っていくのか」という、すべての人間に突きつけられている根本的命題に取り組むのに等しい。だから、もっぱら宗教学という人生哲学に<sup>D</sup>蘊蓄を傾けることを職業としている私は、趣味をもつことすら面<sup>D</sup>ドウなくらい、本業に満足している。

もつとも、「生きるって何なのか」といった大それた命題に取り組むとなれば、もはや<sup>E</sup>ジユウ来の宗教学の範疇にとどまっているわけにはいかない。心理学、人類学、民俗学、歴史学、文学、美学などの方法論を駆使するだけでなく、場合によっては〈複雑系〉や〈非線形〉などの概念に代表される新しい科学理論も取り入れていかななくてはならない。

キ 学問とは、要するに切り口の問題だと思う。先人が見事に切り捌いてみせてくれた切断面を、意味ありげに見つめていても、大した発見ができるわけがない。新しい〈知〉の<sup>\*</sup>パラダイムを切り開こうという気概をもつ者は、研究対象が何であれ、自分だけのオリジナルな切り口を見つけないてはならない。

研究の対象がすでに多くの学者の手垢のついたものであり、もはやナイフの入れようがないというのなら、いっそのこと、それを宮沢賢治ふうに四次元の世界に置き換えてみれば、まったく新しい切り口が見えてくることもある。三次元を四次元にするのは、自己の想像力である。想像力を云々するからといって、科学的分析をコケにしているわけではない。自然科学にせよ、社会科学にせよ、学問はあくまでサイエンスであるから、合理的な思考回路を怠ってはならない。

II、その学問がオリジナルなものとなるかどうかは、ひとえに当事者の想像力にかかっている。豊かな想像力に裏打ちされていない陳腐な芸術作品から、生命の<sup>F</sup>ヤク動感が感じられないことは、誰でも直観的に納得できるだろうが、それと同じことが学問の世界でもいえるのである。

学問の営みが、合理的思考力と想像力の融合体であることが理解されてくると、<sup>G</sup>俄然、学ぶという行為が楽しいものとなる。私がこのことに

ようやく気づき始めたのは、自分の本を母国語である日本語で書くようになってからである。

(町田宗鳳<sup>まちだそうほう</sup>「肉体主義と想像力」による)

(注) \*アリストテレス||古代ギリシャの哲学者。

\*ロダン||フランスの彫刻家。

\*形而上||形をもっていないもの。

\*形而下||形を備えたもの。

\*ロゴス||概念、理性。

\*スピノザ||オランダの哲学者。

\*乖離||隔たりがあること。

\*蘊蓄||蓄えた深い知識や学問。

\*パラダイム||時代を支配する物の考え方。

\*宮沢賢治||日本の詩人、童話作家。

(1) 波線部A～Fのカタカナと同じ漢字があてはまるものを、次の①～④の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

A ソウ計

1

① ソウ定

② ソウ朝

③ ソウ合

④ ソウ飾

B ケイ承

2

① ケイ向

② ケイ駈

③ ケイ算

④ ケイ続

C 白ジヨウ

3

① 賞ジヨウ

② 恒ジヨウ

③ ジヨウ昇

④ ジヨウ約

D 面ドウ

4

① 傾トウ

② 労ドウ

③ 騒ドウ

④ 殺トウ

E ジュウ来

5

① ジュウ道

② ジュウ軍

③ ジュウ居

④ ジュウ横

F ヤク動

6

① ヤク束

② ヤク所

③ ヤク草

④ ヤク進

(2) 本文中の空欄 I II に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑥の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

7

- ① (I) しかし II そのうえ
- ② (I) だから II なぜなら
- ③ (I) しかし II だけでも
- ④ (I) つまり II そのうえ
- ⑤ (I) だから II だけでも
- ⑥ (I) つまり II なぜなら

(3) 傍線部ア「わが日本に古より今に至るまで哲学なし」に対する筆者の考えとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

8

- ① 日本に哲学がないというのは誤りで、認めることはできない。
- ② 日本の哲学も一部認められるので、承服するには条件がある。
- ③ 日本の哲学を否定する姿勢は突飛で、一般の理解は得られない。
- ④ 日本の哲学に関する重要な知見だが、認めるには証拠がある。

(4) 傍線部イ「具象の民」とは、どのような民族を表していますか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

9

- ① 具体的なモノで野性的な思考を深める民族。
- ② モノの造形で形而上的な観念を表す民族。
- ③ 精魂を込めるモノによって生命を感じる民族。
- ④ モノを制作することで思想を表現する民族。

(5) 傍線部ウ「述語的論理」とありますが、これについての説明として適当でないものを、次の①～⑥の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

10

- ① 主語的論理を重んじる西洋ではほとんど見られない。
- ② 個々の事象の存在形態に関わっている。
- ③ 音楽にたとえれば指揮者のいない民族音楽である。
- ④ 古代から続く日本において、伝統的な論理である。
- ⑤ 神や真理を中心に据える理論である。
- ⑥ 深い真理を捉える職人を生み出す。

(6) 傍線部「片言隻句」の意味として正しいものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。 11

- ① 知恵を含んだ重い言葉。
- ② ちよっとした短い言葉。
- ③ 気楽に発せられた軽い言葉。
- ④ 気持ちをこめた温かい言葉。

(7) 傍線部「カビ臭くなってしまう」とありますが、「カビ臭くなっただ」の意味として正しいものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。 12

- ① 当たり前で、新鮮味がない。
- ② 現実離れして、使えない。
- ③ 時代遅れで、古臭い。
- ④ おしつけがましくて、説教臭い。

(8) 傍線部「禅僧ふう」に『とりあえず頭から水でもかぶってこい』と一喝したい」とありますが、筆者がこのように思う理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。 13

- ① 学問は偏った人間がするものだという思いがあるから。
- ② 若者は学問以外の分野の方が成功しやすいと信じるから。
- ③ 宗教学は容易には極められない、奥深い学問であるから。
- ④ 宗教学が面白い学問であるはずがないと感じているから。

(9) 「X」に入ることはとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。 14

- ① 時世時節
- ② 古今東西
- ③ 一切合切
- ④ 時々刻々



(10) 傍線部キ「学問とは、要するに切り口の問題だと思う」から読み取れる筆者の考えとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

15

① 学問は、想像力や合理性に裏打ちされた、自分だけの独特な発想に基づいて行われるべきものである。

② 学問は、過去の学問上の伝統にとらわれることなく、新しい芸術性をも含ませるべきものである。

③ 学問には、新時代を切り開こうとする気概が必要で、科学的分析からは自由に行われるべきものである。

④ 学問には、先人の研究に依拠した発想が不可欠で、豊かな想像力とともに行われるべきものである。

(11) 本文の内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

16

① 形而上学的な思索に耽ることが苦手な現代の若者は、学問では複雑な思考が求められることを理解するべきである。

② 日本ではモノ作りが盛んで哲学思想を生まなかったが、現在では種々の新しい理論による研究が発達している。

③ 述語的論理の哲学者である日本人は学問の分析には向いているが、根本的命題に立ち向かう志向性を持たない。

④ 日本にはモノ作りの哲学があるが、それはロゴス中心に存在形式を定義づけようとする西洋哲学とは異質なものである。

二 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

白河院<sup>a</sup>の御時<sup>おんとき</sup>、天下、殺生禁断せられて、自ら犯す者あれば、重科<sup>じゅうか</sup>に当たりける比<sup>ひ</sup>、ある山寺の僧、母の年たけて、世間<sup>よ</sup>貧しくして、物も食はず煩ひけるが、魚<sup>\*</sup>などなき外<sup>ほか</sup>は、すべて物も食はぬ癖ありけり。

世間に売り買はぬ事なれば、如何<sup>いか</sup>にすべしとも 覚え<sup>A</sup>ず。忽ち<sup>たちまち</sup>に母の命<sup>b</sup>の絶えなん事、悲しく覚えけるままに、心の行くかたと、桂河<sup>かつらがは</sup>にて、取りも慣<sup>な</sup>はぬ魚を取らんとする程に、然るべき事にや、少々<sup>B</sup>取り得たるを、官人見付けて、引き立てて、院<sup>いん</sup>の御所へ具して参りにけり。

「天下の殺生禁断、その隠れなき上、法師<sup>c</sup>の形として、袈裟衣<sup>けささゐも</sup>を着ながら、この悪行を企つる事。返々<sup>かへすがへす</sup>不思議なり」とて、重科<sup>じゅうか</sup>に行はるべかりけるを、この僧申しけるは、「老母が命を助けて、暫くもや添ひ候<sup>しばら</sup>ふかと思ひて、我が身如何なる科<sup>とが</sup>にも行はれ候へ、母が命、少し延びん事、<sup>ウ</sup>本意<sup>ほんい</sup>に候ふ。この魚、今はとても助かるまじきにて候へば、是<sup>これ</sup>を母が許へ遣はし候ひて、一口も物食ひ候ふ由<sup>よし</sup>を承り候ひて、いかなる御戒<sup>おんいまいし</sup>めにも当たり侍らば、本より存じ設けたる事なり。恨みも候ふまじ」と<sup>D</sup>奏<sup>そう</sup>して、涙を流しければ、事の体<sup>てい</sup>を哀れに思食<sup>おぼしめ</sup>て、「母の有りけるこそ、昔も、氷の上に魚を得、冬の天に筍<sup>たけのこ</sup>も得たるためしあり。哀れにこそ覚ゆれ」とて、放ちにけり。

〔沙石集〕による

(注) \*重科 重い罪。

\*世間 生活。

\*魚などなき外は 魚などが無いと。

\*心の行くかたと 心の赴くままに。

\*然るべき事にや そうなる運命だったのか。

\*その隠れなき上 それは明白である上に。

\*暫くもや添ひ候ふか わずかな間でも世話できるか。

\*本より存じ設けたる事なり ともとも覚悟の上のことです。

\*筍 竹。

(1) 波線部 a～d の中で、意味・用法が他の三つと異なるものを、次の

①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

17

① a 「白河院の御時」 ② b 「母の命の絶えなん事」

③ c 「法師の形として」 ④ d 「事の体を」

(2) 二重傍線部 A～D の中で、動作の主体が他の三つと異なるものを、

次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

18

① A 「覚えず」

② B 「取り得たるを」

③ C 「参りにけり」

④ D 「奏して」

(3) 傍線部ア「官人見付けて、引き立てて」とありますが、その理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

19

- ① 僧が、神聖とされる特別な川を汚す行いをしたから。
- ② 僧が、魚を獲ってはならないという法を犯したから。
- ③ 僧が、言われたよりも少ない魚しか獲れなかったから。
- ④ 僧が、人が川で獲った大切な魚を盗もうとしたから。

(4) 傍線部イ「院の御所」の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

20

- ① 貴族の居宅
- ② 裁判を行う役所
- ③ 大きな寺院
- ④ 上皇の御所

(5) 傍線部ウ「本意に候ふ」が表している意味として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

21

- ① 本当だろうと思います。
- ② 事実であればと願います。
- ③ 自分の願いでございます。
- ④ 実にお伝えしたいのです。

(6) 本文中で述べられている内容として適当でないものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

22

- ① 僧はあてもなく歩いた後に行きついた川で、慣れないながらも少々の魚を得ることができた。
- ② 僧はつかまった後も、自分が獲った魚を母親のもとへ届けてくれるようにと、強く願った。
- ③ 僧は獲った魚を母に食べさせたいと言い、その孝行な思いによって無事に釈放されることになった。
- ④ 僧が母親を助けたいという強い思いを表したところ、不思議な現象がいくつも起こり、願いはかなった。

(7) 本作品（「沙石集」）は鎌倉時代に書かれた説話集ですが、同様に、鎌倉時代に成立した作品として適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

23

- ① 『徒然草』
- ② 『枕草子』
- ③ 『太平記』
- ④ 『土佐日記』

〔三〕 次の漢文と口語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

貞観二年、上謂侍臣曰、「朕常謂貪人**不解愛財也**。至如**内**外**官**五品以上、**禄**秩優厚、**一**年所得、**其**数**多**。若**受**人財賄、**不**過**數**万。一朝彰露、**禄**秩**削**奪。此豈**是**解**愛**財物**規**小**得**而**大**失者**也**。

〔口語訳〕

貞観二年、太宗が臣下に言った。

「私がいつも言っていることだが、欲深い人間は財物をほしがること  
がどういふことなのか、。」

内官・外官の五品以上の官吏に至っては、その俸給はたいへん恵まれていて、一年間の所得は当然高額である。そういう役人がもし賄賂を受け取ったとしても、せいぜい数万に過ぎない。ところが、一たび発覚すれば俸給は削られたり取り上げられたりする。

これではどうして財物をほしがる意味が自分ではわかっていると見えようか。こういう人間は、小さな利得をねらって大いに損失する者と言わなければならない。

(1) 傍線部ア「不解」の意味として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。 24

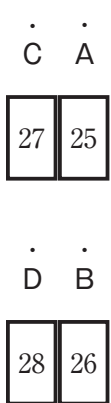
- ① もっと考えるべきだ
- ② 大変理解している
- ③ よくわかっていない
- ④ わかろうとしない

〔貞観政要〕による

若 受 人 財 賄、 不 過 数 万

- 25  
26  
27  
28

(2) 傍線部イ「若受人財賄、不過数万」が「若し人の財賄を受くるも、数万に過ぎず」という書き下し文になるように返り点をつけるとき、次のA～Dに適するものを、それぞれあとの①～⑧の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。



- ① 一  
② 二  
③ 三  
④ レ  
⑤ テ  
⑥ 上  
⑦ 下  
⑧ 返り点なし

(3) 傍線部ウ「露」とありますが、漢文中と同じ意味で「露」が用いられている熟語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

29

- ① 雨露  
② 露出  
③ 露地  
④ 日露

(4) 傍線部エ「規小得而大失」とありますが、これについての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

30

- ① 賤しい行為だとして太宗から批判されている。  
② 太宗はよく見られることだとして納得している。  
③ 人として許されないとして太宗は立腹している。  
④ 太宗は時には仕方がないと一部を認めている。

(5) この文章が伝えようとしていることとして最も適当なものを、次の

- ①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

31

- ① 国家の家臣として守るべき厳しい規律。  
② 多くの欲深い人間に見られる愚かさ。  
③ 裕福な人物になるために必要な心得。  
④ 一流の人物になる時に求められる性質。

四

次の(1)～(4)の部首に分類される漢字として適当でないものを、あとの①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

(1) うかんむり 32

- ① 宇
- ② 空
- ③ 害
- ④ 寧

(2) さんずい 33

- ① 決
- ② 泳
- ③ 洋
- ④ 酒

(3) もんがまえ 34

- ① 問
- ② 閉
- ③ 関
- ④ 関

(4) ころもへん 35

- ① 被
- ② 補
- ③ 初
- ④ 複

五

次の(1)～(4)の意味を持つ故事成語として最も適当なものを、あとの①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

(1) 飾った言葉や、取り繕った顔色で人に取り入ろうとすること。 36

(2) あとかたもなく消えること。 37

(3) 自分の都合のいいように計らうこと。 38

(4) 最後の大切な仕上げ。 39

- ① 我田引水
- ② 画竜点睛
- ③ 疑心暗鬼
- ④ 巧言令色
- ⑤ 晴耕雨読
- ⑥ 千載一遇
- ⑦ 雲散霧消
- ⑧ 以心伝心

六

次の傍線部の①～⑧の中から、(1)副詞・(2)連体詞・(3)形容動詞・

(4)感動詞をそれぞれ一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

・ 穏やかな風が吹く丘の上で、春の日を楽しんだ。<sup>①</sup>

・ もしもし、こちらは田中ですが、鈴木さんをお願いします。<sup>②</sup>

・ 悲しい物語が書かれた小説を読んで、感動した。<sup>③</sup>

・ することが多いので、さつさと終わらせよう。<sup>④</sup>

・ あまりに楽しくて、夢の中をさまようようだった。<sup>⑤</sup>

・ 駅前にもうすぐ大きなビルが建つそうだよ。<sup>⑥</sup>

・ あちらにいらっしゃるのが有名な博士です。<sup>⑦</sup>

・ とてもいい天気だった。それで、散歩に出かけた。<sup>⑧</sup>

(1)	副詞	40
(2)	連体詞	41
(3)	形容動詞	42
(4)	感動詞	43

